

(別記様式第3号)

普及活動検討会実施報告書

栗原農業改良普及センター

実施月日：令和5年9月5日

実施場所：栗原市若柳公民館 ほか

1 検討内容

No.	検討項目
1	プロジェクト課題No.3「集落営農における大豆生産及び法人経営の安定化」について
2	令和5年度普及指導計画及びプロジェクト課題No.1「人と環境にやさしいズッキーニ栽培と収益力の向上」、No.2「金成津久毛地区における高収益作物導入・定着」の取組状況について（報告事項）

2 検討委員の構成

(単位：人)

区分	人数	区分	人数
先進的な農業者	1	生活者	
若手・女性農業者	2	学識経験者	1
市町村	1	マスコミ	
農業関係団体	1	民間企業	1

3 委員の評価と普及センターとしての対応方向

検討項目	評価値 平均値	評価結果（コメント、評価表の要約）	普及センターとしての対応方向
No.1について	4.5	(プロジェクト課題No.3) ・大面積大豆生産の高位安定化へ向けて、綿密な作業計画やほ場の巡回により播種精度向上、除草剤の散布や中耕培土、摘芯作業等が適期に行われるように、細部にわたって伴走支援を続けているチーム員の方を評価します。 ・収量、品質のレベルアップが、大面積経営において大きな利益・所得向上に寄与されると思います。ぜひ、わかりやすい「経営成果の構図」を出来秋後に(農)ふくおかの皆さんと共有し、管内の	・(農)ふくおかでの大豆の収量・品質が向上した場合の収益の変化についても、(農)ふくおかとともに検証と評価を行います。その成果について、管内生産者へ情報提供して大豆の収量・品質、さらには収益性の向上につなげてまいります。 ・管内で作付けされる大豆の収量・品質の向上につなげるため、当該課題で得られた作業精度を向上させるポイン

	<p>生産者にも成果波及してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栗原市の産地交付金（水田収益力強化ビジョン）のメニューである、大豆の団地加算の交付要件には、300A 技術の取組が必須であることから、収量確保に向けた技術的指導をお願いします。 	<p>ト、各作業の適切な実施時期の判断方法について、管内生産者への技術指導に活用してまいります。</p>
No. 2 について	<p>(プロジェクト課題No.1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「栗っこズッキーニ」の知名度もだいぶ向上しているが、市場認知度が課題であるので、定期的継続的な販売促進活動が必要だと思えます。 ・栽培技術の向上とともに、収量、収益力の向上にもつながると生産意欲も出ると思えます。 <p>(プロジェクト課題No.2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加工用ばれいしょについては、売り先が決まっているので、プロジェクトを成功させて規模拡大につなげてほしいと思えます。 ・加工用ばれいしょを試作実証された経営は、ほ場整備後の導入検討に向けて「パイロット的」に、生産にチャレンジされたものだと思います。その御苦労や、生産、作業上の課題、経営としての視点などを整理されたものは、貴重な成果となると思えますので、その検証結果を今後の普及拡大のために活かしてください。 <p>(共通)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栗原の園芸振興を図るための重要な課題と考えます。安定生産、販売 PR、生産者の高齢化等々の問題もありますが、園芸産出額の拡大に向けて、引き続き支援をお願いします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・当プロジェクトでは、JA と連携し生産者とともに青果市場へ訪問し、実需者ニーズを知る機会を設けるなどの活動を実施してまいりました。今後も JA と連携しながら、更なる PR 活動に努めてまいります。 ・部会では、新たな栽培方式である「立体栽培」に取り組むなど、秀品率の改善を図ることで収益力の向上を目指していますので、目的達成へ向け、より具体的なデータを収集・分析して普及に取り組んでまいります。 ・管内における加工用ばれいしょの取組面積は、少しずつではありますが増加傾向にあります。今後とも、水田営農における加工用ばれいしょ等の高収益作物導入支援について、関係する機関と連携しながら広く取組が行われるよう図ってまいります。 ・現在取り組んでいる両課題を含め、園芸振興に関する栗原圏域産地戦略プランに基づき、関係機関とともに園芸産出額の拡大に向けた活動を実施してまいります。

その他	<ul style="list-style-type: none"> ・普及活動の事例、特に成功している事例は、情報発信していただきたい。 ・売ることに関して意識してみてほしいと思います。 ・厚みのある畜産地帯でもある栗原において、ニーズのある多様な飼料生産（稲わら、粗飼料、とうもろこしや飼料米の連携活用、水張りでのWCSなど）を水田農業の強みに生かす仕組みづくりに取り組んでいる、または、取り組もうとする皆さんを応援する普及活動に期待します。 ・シャインマスカット等、輸出向けの商品への取組をお願いします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後とも普及センターだよりや栗原農業改良普及センターのホームページ等を活用して、成果事例等の情報発信に努めてまいります。 ・いただいた御意見等につきましては、来年度以降の普及計画作成時に検討させていただきます。
-----	---	---